

学習会

風力発電施設からの低周波音による健康影響の実像

大型風車から発生する（超）低周波音は頭痛・めまい・吐き気等の症状を誘発、睡眠障害の原因にもなります。石狩湾新港地区に計画中の4つの大型風力発電事業の着工が間近となり、騒音や（超）低周波音による健康被害の問題が現実味を帯びてきました。

風力発電施設などから発生する低周波音による健康への影響については、騒音専門家と称する人々の間でも、正しい科学的知識が共有されていません。騒音による健康被害の研究の第一人者である松井先生が、低周波音によって生じるめまいや睡眠障害などの健康影響について、内耳での知覚のメカニズムから実像に迫ります。

<新港地区に計画中の事業一覧>

◎銭函風力発電事業	銭函ウィンドファーム合同会社	3300kW×10基（来年着工予定）
◎石狩湾新港風力発電所	エコパワー（株）	3300kW×3基（今年度着工予定！）
◎石狩コミュニティウィンドファーム	（株）市民風力発電	2300kW×9基（来年着工予定）
◎石狩湾新港区域内洋上風力発電	グリーンパワーインベストメント 他5社の企業体	4000kW×26基

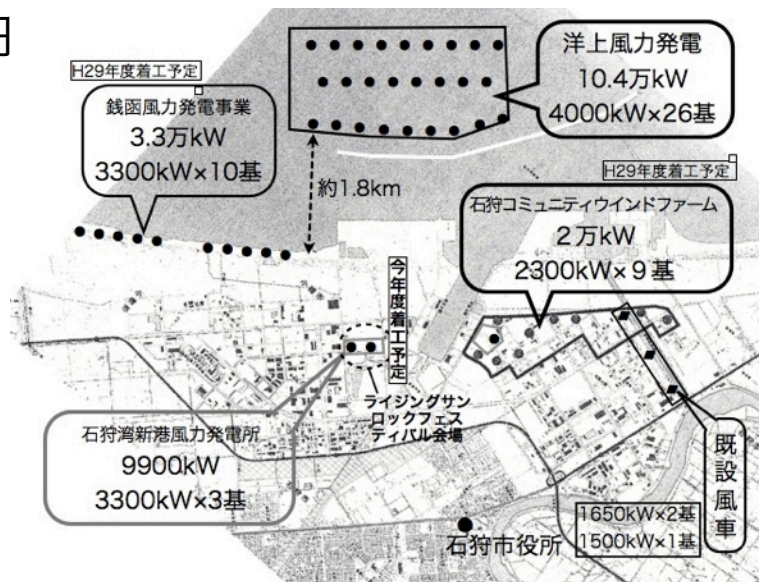
◆日時：平成28年**11月26日**（土） 13:30～15:30

◆場所：石狩市総合保健福祉センター「りんくる」
3階 視聴覚室（石狩市花川北6-1）

◆講師：松井利仁氏（北海道大学大学院工学研究院教授）

◆費用：300円

主催・問合せ：
石狩湾岸の風力発電を
考える石狩市民の会
安田（Tel 74-6198）



風力発電施設
配置図

裏も
あります